古河市小学校教育課程特例校（英語）教育課程編成の方針

１　特別の教育課程の概要

小学１年生から英語活動を行い、歌やゲーム、挨拶や簡単な会話を通して、英語の音声やリズムに慣れ親しみ、英語によるコミュニケーション能力を高めるための素地を養う。本市で行う英語活動は、英語の学習が好きで、英語で挨拶や簡単なやり取りができる児童を育てることを目標とする。

【 低学年 】
・第１、２学年、１回 45 分（生活科の授業時数削減）　　年間 10 時間
・主に学級担任と外国語指導助手（ALT）との TT（ティーム・ティーチング）

【 中学年 】
・第３、４学年、週１回 45 分（外国語活動）　　年間 35 時間
・主に学級担任と外国語指導助手（ALT）との TT（ティーム・ティーチング）

【 高学年 】
・第５、６学年、週２回 45 分（外国語科）　　年間 70 時間
・主に学級担任と外国語指導助手（ALT）との TT（ティーム・ティーチング

２　学校又は地域の特色を生かした特別の教育課程を編成して教育を実施する必要性

古河市では、「教育に関する大綱」を策定し、グローバル社会をリードする人材の育成、さらには、国際化、情報化に対応できる力を育成することを目指している。

その一環として、小学校、中学校９年間の切れ目のない外国語教育の充実のために、小学１年生からの英語活動を実施し、外国語教育の推進を図っていく。

３　令和８年度　古河市立駒込小学校

小学校の方向性

市の方針を受け、本校においては**児童のコミュニケーション能力の基礎を育成する「聞くこと・話すこと」を中心とした英語活動の充実**に重点的に取り組むことを通して、本校学校教育目標「**みんなが笑顔になる学校**」を目指していく。